

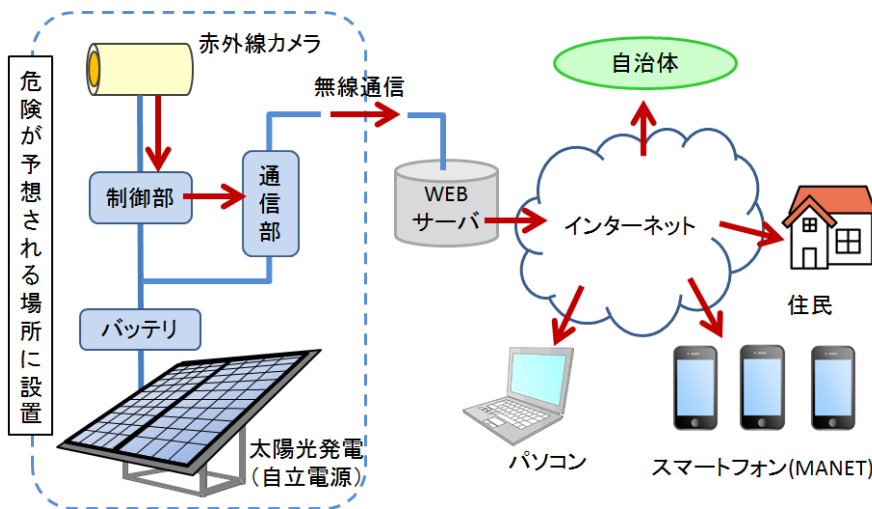
電源自立型の土砂災害モニタリングシステム

情報科学研究科 情報工学専攻 モニタリングネットワーク研究室

- 土砂災害等の自然災害に対しては迅速な避難が重要
- 災害が予想される危険な地帯を住民が自ら監視でき、避難判断の支援が必要
- 電源線や通信回線がない箇所の昼夜連続監視システム
- 専用端末を必要としない住民への情報配信の実現

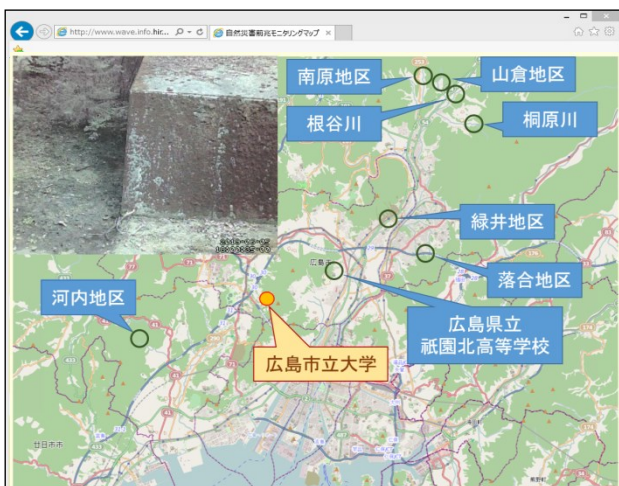


電源自立型の土砂災害モニタリングネットワークシステム



- 太陽光発電による電源供給
- 赤外線カメラによる昼夜連続撮影
- 無線通信網によるワイヤレスネットワーク化
- WEBサーバによる地域住民への映像配信
- パソコンやスマートフォンによる確認が可能
- 暗号化技術によりセキュアなデータ転送の実現

WEBページによるリアルタイム画像配信



- 現在、広島市の8箇所にてシステム設置
- 広島市立大学とネットワーク化
- スマートフォン・タブレットにも対応



- WEBサーバにてリアルタイム画像配信
- 1時間前までの時系列データも表示
- バッテリー残量の表示(一部地区)